

基礎看護学

専門分野

授業科目	看護展開実習	講師	氏名	清水京子	開講年次	2年次 後期	単位・時間	2単位 60時間										
			所属	専任教員														
			実務経験	臨床看護師														
実習目的	看護過程の思考プロセスを活用し、対象に応じた看護の展開を学ぶ。																	
到達目標																		
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロイ適応看護理論を用いて、対象を全人的に捉えることができる。 2. フィジカルアセスメントを実施し、対象の健康障害から引き起こされる日常生活への影響を導き出すことができる。 3. 看護過程の思考プロセスを活用し、対象に応じた日常生活援助を実践できる。 																	
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィジカルアセスメントを実施し、対象の変化にいち早く気づくことができる。また、その気づきを看護師に報告・連絡・相談ができる。 2. フィジカルアセスメントを基に、対象の健康障害から起こる日常生活への影響を捉え工夫した援助ができる。 																	
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象に適した看護を自ら探求し実践に活かすことができる。 2. 実習指導者や実習担当教員に自ら進んで指導を受けることができ、アセスメントの再考ができる。 																	
実習期間及び実習時間	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：10日間（臨地実習） 2. 実習時間：原則として8：30～14：00 実習オリエンテーション：2時間 																	
実習内容及び実習方法	<p>(実習内容) 対象の健康問題を明確にし、問題解決に向けた計画・実践・評価までの一連の看護過程の思考プロセスを実践を通して学ぶ。</p> <p>(実習方法) 1名の患者を受け持たせて頂き、アセスメント・看護診断・介入計画立案・看護実践・評価を実施する。</p> <p>※詳細は、看護展開実習要領及び実習オリエンテーションで伝える。</p>																	
実習施設	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会医療法人 水光会 宗像水光会総合病院 2. 宗像医師会病院 <p style="text-align: right;">左記2施設のいずれかで行う。</p>																	
評価方法および評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「評価規程」及び「実習に関する規程」、「追実習及び再実習に関する規程」に基づいて行う。 2. 看護展開実習の実習状況を基に、評価表により100%評価とする。 																	
テキスト・参考文献	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">ロイ適応看護理論の理解と実践</td> <td style="width: 50%;">(医学書院)</td> </tr> <tr> <td>NANDA-I看護診断</td> <td>(医学書院)</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 基礎看護学②基礎看護学技術 I</td> <td>(医学書院)</td> </tr> <tr> <td>アセスメントに自信がつく臨床推論入門</td> <td>(メディカ出版)</td> </tr> <tr> <td>臨床判断ティーチングメソッド</td> <td>(医学書院)</td> </tr> </table>								ロイ適応看護理論の理解と実践	(医学書院)	NANDA-I看護診断	(医学書院)	系統看護学講座 基礎看護学②基礎看護学技術 I	(医学書院)	アセスメントに自信がつく臨床推論入門	(メディカ出版)	臨床判断ティーチングメソッド	(医学書院)
ロイ適応看護理論の理解と実践	(医学書院)																	
NANDA-I看護診断	(医学書院)																	
系統看護学講座 基礎看護学②基礎看護学技術 I	(医学書院)																	
アセスメントに自信がつく臨床推論入門	(メディカ出版)																	
臨床判断ティーチングメソッド	(医学書院)																	
留意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原理・原則に基づいた日常生活援助技術を修得してから実習に臨む。 2. ロイの適応看護理論に基づいた看護過程の思考プロセスを理解したうえで実習に臨む。 																	